

## 基本方針1 都市特性を踏まえた循環型社会づくり

循環型社会の実現に向けて、第3次産業中心の「商業都市」として、環境配慮型商品の普及を進めるとともに、「アジアの交流拠点都市」として、福岡市を訪れる人々が自然に3R行動を実践しやすい環境を整備します。

### 施策の体系（案）

#### 環境配慮型商品の普及【共働】

代替素材の普及促進 **【拡充】**(プラ)

グリーン購入の促進 **【拡充】**(古紙)

※代替素材:プラスチックから紙への転換, バイオマスプラスチック, 生分解性プラスチック等

#### 交流人口をターゲットとした3Rの推進【共働】

福岡エコ運動の推進 **【拡充】**(食品)

特定事業用建築物への指導 **【拡充】**(古紙・食品)

施設特性に応じた発生抑制や資源化の推進 **【新規】**(古紙・食品)

#### 単身者・高齢世帯等の多様なライフスタイルに対応した資源循環の推進【共働】

「新しい生活様式」に対応した資源物回収 **【新規】**(古紙)

高齢者向けの資源循環の推進 **【新規】**(古紙)

外国人居住者向けの広報啓発 **【拡充】**

### 取組指標（案）

| 指標(把握方法)                                  | 指標設定の考え方  |
|---|---|
| 環境配慮型商品を購入する市民の割合の向上<br>(市政アンケート)         | 環境配慮型商品の普及の進捗を把握するため、環境配慮型商品を購入する市民の割合を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】<br>詰替商品の購入:78.3%<br>再生品の購入:10.9%   |
| 特定事業用建築物における廃棄物発生量の削減<br>(廃棄物の減量等に関する計画書) | 交流人口をターゲットとした3R施策の進捗を把握するため、大規模集客施設等の特定事業用建築物における廃棄物発生量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】36.4t/棟            |
| 市民のリサイクル実践度の向上<br>(市政アンケート)               | 多様なライフスタイルに対応した資源循環の進捗を把握するため、リサイクル行動を実践する市民の割合を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】集団回収:64.5%, 古紙回収ボックス:23.2% |

## 基本方針2 インノベーションとコミュニティによる地域循環共生圏の創造

産学官連携によるイノベーションの創出やNPO等も参加した多様なコミュニティによる取組みによって、地域の活力を最大限発揮します。

### 施策の体系（案）

#### 設計段階からの環境配慮型商品の開発支援【共働】

産学官連携による環境配慮型商品の開発支援 【新規】(プラ)

#### ICT・AIを活用したシェアリング等の2Rビジネスの促進【共働】

ICT・AIを活用した食品ロスの削減 【拡充】(食品)

2Rビジネスの普及促進 【新規】(プラ)

※シェアリング:「個人等が保有する活用可能な資産等(スキルや時間等の無形のものを含む。)をインターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動」であるとされており、サーキュラーエコノミーの類型の1つ(例)メルチャリ、アイカサ

#### 多様なコミュニティによる都市と自然が調和した資源循環の確立【共働】

地域集団回収報奨制度 【拡充】(古紙)

事業系食品廃棄物リサイクル推進事業 【拡充】(食品)

生ごみリサイクル促進事業 【拡充】(食品)

拠点での資源物回収(民間協力店) 【拡充】(プラ)

店頭での自主回収の推進 【拡充】(プラ)

プラスチックリサイクルのあり方検討 【新規】(プラ)

### 取組指標（案）

| 指標(把握方法)                           | 指標設定の考え方   |
|------------------------------------|--|
| リサイクル率の向上<br>(地域集団回収, 資源化施設への搬入量等) | 地域循環共生圏の取組みの進捗を把握するため、リサイクル率を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】31%                          |
| 資源化可能な古紙の焼却量の削減<br>(組成調査)          | 古紙の資源化の進捗を把握するため、資源化可能な古紙の焼却量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】10.7万t(家庭系4.4万t, 事業系6.3万トン) |
| 食品廃棄物の焼却量の削減<br>(組成調査)             | 食品廃棄物の資源化の進捗を把握するため、食品廃棄物の焼却量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】14.2万t(家庭系8.1万t, 事業系6.1万t)  |

## 基本方針3 持続可能なライフスタイルとビジネススタイルへの転換

持続可能な社会の実現に向けて、3Rを実践するライフスタイルやビジネススタイルへの転換を促進します。

### 施策の体系（案）

#### 持続可能な消費行動への転換【市民】

マイバック・マイボトルの利用促進 【拡充】(プラ)

リフューズの推進 【拡充】(プラ)

エシカル消費の推進 【新規】(プラ・食品)

※リフューズ:過剰な包装を断り, 不要なものを購入しないこと

※エシカル消費:消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり, そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと

#### 手つかず食品, 食べ残しなどによる食品ロスの削減【市民・事業者】

Fukuokaいーとプロジェクト 【拡充】(食品)

福岡エコ運動の推進(再掲) 【拡充】(食品)

フードバンク, フードドライブの推進 【拡充】(食品)

※Fukuokaいーとプロジェクト:家庭から排出される食品ロスの削減を推進する福岡市の事業

※フードバンク:食品業者や農業生産者等から, 食品ロスの寄附を受け, 必要な人や団体に無償で提供する活動

※フードドライブ:家庭で余っている食品を集め, 必要とする団体へ無償で提供する活動

#### 事業者古紙の資源化促進【事業者】

事業者古紙資源化推進事業 【拡充】(古紙)

紙おむつリサイクルの検討 【拡充】(古紙)

#### ESG投資の普及促進【事業者】

地域金融機関との連携によるESG投融資の普及・促進 【新規】

### 取組指標（案）

| 指標(把握方法)                                 | 指標設定の考え方   |
|--|--|
| 持続可能な消費行動の実践度の向上<br>(市政アンケート)            | 持続可能な消費行動への転換を把握するため, 各消費行動の実践度を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】<br>レジ袋の辞退:79.2%<br>詰替品の購入:78.3%<br>簡易包装の購入:55.8%<br>マイボトルの持参:53.6%<br>計画的な購入:44.3%<br>再生品の購入:10.9% |
| 家庭系プラスチックごみの焼却量の削減<br>(組成調査)             | リフューズ等によるワンウェイプラスチックの削減状況を把握するため, 家庭系プラスチックごみの焼却量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】5.8万t   |
| 食品ロス発生量の削減<br>(組成調査)                     | 食品ロス削減の進捗を把握するため, 可燃ごみに含まれる食品ロス(手つかず食品のみ)の量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】2.3万t(家庭系1.4万t, 事業系0.9万t)   |
| 資源化可能な事業者古紙の焼却量の削減<br>(組成調査)             | 事業者古紙の資源化の進捗を把握するため, 資源化可能な古紙の焼却量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】6.3万t   |
| 【参考指標】市内総生産当たりの事業者ごみ処理量の削減<br>(福岡市民経済計算) | 持続可能なビジネススタイルへの転換を把握するため, 市内総生産当たりの事業者ごみ処理量を参考指標として把握する。<br>【現状値(2017年度)】3.77t/億円  |

#### 【課題】

○市内総生産については, 公表が当該年度の3年後となるため, 取組指標ではなく, 参考指標とする。

## 基本方針4 適正処理の更なる推進

平時から事故・災害時まで一貫して安全を確保できる処理体制を構築するとともに、**スプレー缶**、**リチウムイオン電池等の発火の危険性がある廃棄物の適正回収**、廃棄物処理過程における脱炭素化や陸域でのプラスチック回収による海洋プラスチック対策を推進します。

### 施策の体系（案）

#### 適正処理に向けた基盤整備の推進【行政】

一般廃棄物の適正処理 【拡充】

適正処理困難物の削減 【拡充】

自己搬入ごみ対策 【拡充】

産業廃棄物の適正処理 【拡充】

新型コロナウイルス感染症対策 【拡充】

#### 大規模災害等に対応した廃棄物処理体制の構築【行政】

災害廃棄物処理体制の検討 【拡充】

大規模災害に対応した施設整備 【拡充】

広域支援体制の構築 【拡充】

#### 廃棄物処理における温室効果ガス排出量削減の推進

ごみ焼却熱の有効活用 【拡充】

収集運搬・処分における温室効果ガスの排出削減 【拡充】

代替素材の普及促進(再掲) 【拡充】(プラ)

#### 海洋プラスチックごみ対策、不法投棄対策の推進【共働】

地域ぐるみ清掃、ラバーアース・クリーンアップ事業 【拡充】(プラ)

不法投棄防止対策 【拡充】(プラ)

### 取組指標（案）

| 指標(把握方法)                     | 指標設定の考え方   |
|------------------------------|--|
| 有害廃棄物等の混入量の削減(組成調査)          | 一般廃棄物の適正処理の進捗を把握するため、不燃ごみに混入したスプレー缶(残留物有)、リチウムイオン電池、蛍光灯、乾電池等の有害・危険な廃棄物の量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】<br>蛍光灯:17t<br>乾電池:238t<br>スプレー缶(残留物有):36t<br>リチウムイオン電池:未把握(今年度調査予定) |
| 廃棄物処理における温室効果ガス排出量の削減(組成調査等) | 廃棄物処理における脱炭素化の進捗を把握するため、廃棄物処理における温室効果ガス排出量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】未把握  |
| 不法投棄量の減少(回収実績)               | 不法投棄対策の進捗を把握するため、不法投棄量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】23t  |

#### 【課題】

〇市による海洋プラスチック対策は主に陸域での回収となるため、取組指標の設定が難しい。

## (再掲)重点3品目に関する施策

第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画では古紙、プラスチックごみ、食品廃棄物を重点3品目として、重点的に施策を実施する。

重点3品目毎に方針別施策及び取組指標を整理し、施策の進捗を管理する。

### 施策の体系(案)

※方針別施策を品目ごとに整理したもの

#### 古紙に関する施策

|               |                     |
|---------------|---------------------|
| 古紙の優先利用       | グリーン購入の促進           |
| 発生抑制<br>リサイクル | 特定事業用建築物への指導        |
|               | 施設特性に応じた発生抑制や資源化の推進 |
|               | 地域集団回収報奨制度          |
|               | 事業系古紙資源化推進事業        |
|               | 「新しい生活様式」に対応した資源物回収 |
|               | 高齢者向けの資源循環の推進       |
|               | 紙おむつリサイクルの検討        |

#### 食品廃棄物に関する施策

|             |                                   |
|-------------|-----------------------------------|
| 食品ロス<br>の削減 | Fukuoka1とプロジェクト                   |
|             | 福岡エコ運動の推進                         |
|             | ICT・AIを活用した食品ロスの削減                |
|             | フードバンク、フードドライブの推進                 |
| リサイクル       | エシカル消費の推進                         |
|             | 生ごみリサイクル促進事業<br>事業系食品廃棄物リサイクル推進事業 |

#### プラスチックごみに関する施策

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 発生抑制     | マイバック・マイボトルの利用促進       |
|          | リフューズの推進               |
|          | エシカル消費の推進              |
|          | 2Rビジネスの普及促進            |
| 代替素材     | 代替素材の普及促進              |
|          | 産学官連携による環境配慮型商品の開発支援   |
| リサイクル    | 拠点での資源物回収              |
|          | 店頭での自主回収の推進            |
|          | プラスチックリサイクルのあり方検討      |
| 海洋プラスチック | 地域ぐるみ清掃・ラブアースクリーンアップ事業 |
|          | 不法投棄防止対策               |

### 取組指標(案)

※方針別の取組指標を品目別に整理したもの

| 指標(把握方法)                 | 指標設定の考え方  |
|--------------------------|---|
| 資源化可能な古紙の焼却量の削減(組成調査)    | 古紙の資源化の進捗を把握するため、資源化可能な古紙の焼却量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】10.7万t(家庭系4.4万t, 事業系6.3万トン)            |
| 家庭系プラスチックごみの焼却量の削減(組成調査) | リフューズ等によるワンウェイプラスチックの削減状況を把握するため、家庭系プラスチックごみの焼却量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】5.8万t               |
| 食品ロス発生量の削減(組成調査)         | 食品ロス削減の進捗を把握するため、可燃ごみに含まれる食品ロス(手つかず食品のみ)の量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】2.3万t(家庭系1.4万t, 事業系0.9万t) |
| 食品廃棄物の焼却量の削減(組成調査)       | 食品廃棄物の資源化の進捗を把握するため、食品廃棄物の焼却量を取組指標とする。<br>【現状値(2019年度)】14.2万t(家庭系8.1万t, 事業系6.1万t)             |